

社会科小学校研究部会

I 研究テーマ

「社会科資料の効果的な活用法の研究」

II 研究テーマ設定の理由

授業を進めていく上で、わたしたち教師がまずもって願うことは、子どもたちが意欲をもって学習に取り組んでくれることである。さらに、社会科の授業においては、社会の変化に自ら対応する能力や態度の育成を図る観点から、学び方や調べ方を大切にしながら、子どもたちの主体的な学習をいっそう重視することが求められている。そのために考えられることの一つに、資料の選択と活用の問題がある。教師がどのような資料を用意し、どのように活用するかによって、子どもたちの学習意欲や学習活動は大いに左右されると考えられるからである。

本部会では、昨年度も、資料をどのように授業の中で活用していくのかという点について研究を進めてきた。授業で提示する資料を絞り込んでいくには、教師がどのようなねらいをもって授業を考えるのか。また、単に意欲を喚起するだけでなく、資料からどのような事実や考えを読み取らせ、また、それを話し合いなどで交流させ深めていくにはどうするのか、などの課題が明らかになってきている。

このような研究の積み上げの上で、今年度も子どもたちの学習意欲を喚起し、学習活動を充実させるためには、どのような資料を選択し活用していけばよいのかということの研究の中心に据えていきたい。また、社会科の授業づくりに生かせるような臨地研修や講演会などを計画しながら教師自身の社会的な視野を広げていけるようにしたい。さらに、中学校の社会科部会の先生方の授業を参観させていただくことで、相互に理解を深め小中連携を図る取り組みを行っていきたい。

III 研究の内容と経過

1 内 容

- (1) 資料を活用した社会科授業についての研究（授業研究 9月）
- (2) 甲府城址における臨地研修（講師：埋蔵文化財センター 村石眞澄先生）
- (3) 学習会「富士山の芸術・文化」（講師：山梨県環境科学研究所 藤巻桂吾先生）
- (4) 中学校の授業研究会への参加

2 経 過

- | | | | |
|---------|---------------------|------------|-------------------|
| 4 / 1 1 | 全体会 | 小中合同の組織づくり | 今年度の活動の確認 |
| 5 / 1 4 | 春季全体集会 | テーマ 組織 | 研究内容 研究方法 年間計画の決定 |
| 6 / 1 8 | 各自が研究授業に関わる指導案を持ち寄り | 授業の方向性を検討 | |

- 7 / 3 1 研究授業指導案の検討 学習会「富士山の芸術・文化」
夏季全体集会
- 8 / 1 6 甲府城址において臨地研修
- 9 / 3 小学校授業研究会（千塚小）
- 10 / 1 中学校授業研究会参加（甲府南中）
- 10 / 24-25 県教研参加
- 11 / 5 県教研の報告 「わたしたちの甲府市」及び附録地図の見直し
- 1 / 2 1 今年度まとめと来年度の方向性

3 研究授業（大里小学校の実践）

(1) 単元名 工業生産を支える人々（5年生）

(2) 単元の目標

- 工業がさかんな地域の様子を具体的に調べ、工業生産に携わる人々が生産を高める工夫・努力をしていることや、日本の工業の現状と課題をとらえることができる。
- 工業生産に関する写真や地図、統計などの資料を収集・選択し、国民生活を支える工業生産の意味や、運輸・貿易のはたらきについて関連付けながら考えることができる。

(3) 本時の学習

- ①目標 自動車工業にかかわる人々について興味や関心をもち、働く人の考えを予想することを通して工場見学への視野を広げ、調べてみようとする意欲をもつことができる。（関心・意欲・態度）

②展開

	主な学習活動と内容	指導上の留意点	評価
導入	1 前時のふりかえりをする。 ・自分が乗ってみたい車	・本時では立場をかえて自動車をつくる人々の考えはどうか投げかける。	
展開	2 本時の学習問題をつかみ、予想をたてる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">自動車工場働く人たちは、どのようなことを考えて車をつくっているか予想しよう。</div> ・かっこいい車 ・速い車 ・売れる車	前時で自分が乗ってみたい車を考えた経験と比べて考えさせる。	☆自動車づくりにかかわる人々について関心をもつことができ
	3 資料を見て、予想を広める。 [組み立て作業をする人の写真・動画] ・間違わないように設計図を	・発表された意見について、なぜそう思うのか、写真をもとに根拠を示せるようながす。さらに、そこから工場の設備などへも視野	

	<p>見ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けがをしないようにしよう。 ・どこに部品を取り付けるの だろう。 <p>[設計をする人の写真・動画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな色や形にしようかな ・どんな車が売れるかな 	<p>を広げさせ、見学の視点づけをさせたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真中の人物の立場にたって考えることができるよう、予想は人物からのふきだしに記入させる。 ・自動車生産には、組み立て以外にも仕事があることを確認させる。 	<p>たか。【発言・ワークシート】</p>
	<p>4 新たな資料に出会い、視野を広める。</p> <p>[溶接作業ロボットの写真・動画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして人がいないのかな ・火花が出ていて危なそう <p>[ロボットを導入した人の写真]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正確につくるため ・ほかの場所に人を割りあてるため ・危険な作業だから 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボットによる作業場面を提示し、なぜ人がいないのかを考えさせる。 ・ロボットを導入した人たちの考えを予想させ、設備や施設の安全や効率といった工夫へも視点をもたせたい。 	
ま と め	<p>5 本時をふりかえり、次時を見通す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車工場で働く人のどのような点に注目して調べてくるのか、意識付けるため「…を調べてみたい。」という文章でまとめさせる。 	<p>☆工場見学への期待をまとめることができたか。【ノート】</p>

IV 研究の反省と課題

本部会では、ここ数年「社会科資料の効果的な活用法の研究」というテーマのもとに研究を進めている。今年度は、大里小学校において、デジタル教科書の写真・動画を効果的に使用し、自動車工場見学に向けての意識付けをねらいとした授業実践が提案された。授業後の研究会では、視聴覚機器や実物等の視覚や実際にふれることのできる資料の活用が重要であること、それらの資料をどのような順序で提示してけば、児童の思考がより深まるのかという点を中心に討議がなされた。また、本実践では、指導案を検討するにあたり「知識の構造図」を作成し、「知識のもとになる用語」として教えるべき内容と、「考えて身につける知識」として考えさせるべき内容を整理した。これにより、単元全体の中で押さえるべき内容は何かを明確にすることや、基礎的・基本的な用語を使い学習したことを児童に表現させる際の手がかりとすることができた。学習内容が豊富な社会科にとって、押さえるべき内容を整理することは大変重要な課題でもあるので、来年度以降も研究の一視点として研究を進めていきたい。